

公益社団法人京都府鍼灸師会の会員制度

公益社団法人京都府鍼灸師会の会員は現在、正会員、準会員、賛助会員、学生会員及び名誉会員から構成されています。正会員の資格要件は、「京都府下に居住あるいは勤務する者。」だけでしたが、昨年5月の定時会員総会において定款を変更し、「鍼灸師であつて、特別の理由等により入会を希望する者。」を追加しました。特別の理由等とは、他府県に居住し京都府下に勤務していた会員が、他府県に勤務地を移す時に、慣れ親しんだ京都府鍼灸師会に会員の継続を希望される複数例があつたため、主にこういった要望に応えることができないようにしました。その他(等)の例として、他府県に居住・勤務しているが、師弟関係や研究会等で京都府との関係が深く、本会への入会を特に希望されていたが実現しなかつたことが過去にありました。本会への帰属意識が高い会員の退会の抑制、入会の促進を図ることが変更を行った理由です。

本会正会員の平均年齢は50代半ばであり、60歳以上の会員が少なくありません。このため、現会員の高齢化・閉院・病気療養等を理由とする退会が目立ち、これを補うべき若年者を含む入会者が少ないのが現状です。30年〜40年以上の臨床経験に裏付けされた会員の熟練した鍼灸技術を次世代を担う鍼灸師に伝承する仕組みができていません。本会に入会していない鍼灸師にとつては、知り合いの会員がいない限り、京都府鍼灸師会がどのような活動を行っているのか、入会すればどんなサービスが受けられるのか等、知る由もありません。敷居が高く、いきなり正会員になるのを躊躇しておられる方が多いのではないのでしょうか。

このため、今年5月の定時会員総会において定款を変更し、正会員に加えて、準会員と賛助会員の制度を創設しました。準会員は、月額1,000円(年間12,000円)の手頃な会費で入会でき、本会が主催する生涯研修会や講演会に正会員と同額の受講料で参加できます。鍼灸学校の卒業年数の浅い鍼灸師、勤務鍼灸師、学校教員他を対象と考え、これらの研修会や正会員が独自のテーマで運営するサークル活動への参加や本会が参加するスポーツイベント等における鍼灸体験会等の普及活動への参加を通じ、ベテラン会員との交流・親睦を深めて、できるだけ早期の正会員への移行を期待します。

賛助会員は、本会の目的に賛同する法人又は団体、又は個人としますが、法人及び団体の種類は問わないこととします。学校法人や鍼灸関係の企業や団体、及び個人を対象と考えています。鍼灸師の団体が円滑に事業を行うためには、会員の協力はもとより、関連機関や業界との連携、協力体制の構築が不可欠です。例えば、生涯研修会では演者が実技を行うことが多いのですが、煙感知器が反応する可能性があるため、お灸ができる一般的な会場を見つけて、研修会が極めて困難です。研修会の借用できることは大変有難いことです。また、この研修会に鍼灸学校から様々な専門分野の講師を派遣いただいています。鍼灸材料・機器のメーカーや代理店とは、単に材料や機器を供給いただくという関係に留まらず、電子カルテやスマホを活用した施術の予約や施術データの二次利用といった鍼灸院のデジタル化の提案をいただき、講習会を共同で開催する等して、普及に向けた緊密な関係が出来つつあります。

また、大規模災害時には、他の医療団体と連携して、被災地の避難所で被災者に対する心身のケアを行うことが求められます。関係する医療関係団体とは普段から活動を共に行うとともに、共同体としての関係強化を図ることが大切で、この賛助会員の年会費は100,000円で3口以上とさせていただきます。

賛助会員には会誌への広告掲載に加えて、様々な特典を考えていますので、是非とも入会をご検討ください。

公益社団法人京都府鍼灸師会
会長 森岡 正和

公益社団法人 京都府鍼灸師会

はりきゅっていきましょう！

毎月8日・9日ははりきゅっていきましょう！

令和3年
夏号

おしえて！鍼灸 ②7

ぎっくり腰後、足腰の冷えも酷くなりました。こうした腰痛に鍼灸は効果的ですか？

Q 数年前ぎっくり腰をした後、なかなか腰痛が良くなりません。また足腰の冷えが酷くなりました。このような腰痛にも、鍼灸治療は効果的でしょうか。(46歳、女性)

A 最初に有効だった症例を、次に2つの温灸法を比較した結果を紹介しましょう。

【症例】57歳、女性、主婦。
主訴Ⅱ腰痛、下肢の冷え。
現病歴Ⅱ20年前に子供を抱き上げた時に、ひどい腰痛を起こした。それ以来、腰痛に悩まされる(整形外科を受療すると症状は軽快)。1年前より痛みが腰部・臀部に増強(左側)し、歩行もできぬ状態となった。近医で腰部硬膜外麻酔と神経ブロック療法を勧められたが、以前から局麻アレルギーがあるため、本人の希望で当麻酔科を受診。

現症Ⅱ側彎や階段変形は認めない。前屈痛は陽性で指床距離20cm。後屈痛は陽性(軽度)。圧痛点あり(仙棘筋外縁、大殿筋など)。その他整形外科的検査は異常なし。ややうつ病的傾向(MDテスト19点)があり、東洋医学の瘀血(血液のうっ滞)の診断基準(寺沢ら作成)では22点で瘀血病態と認められた。

治療方法Ⅱ瘀血病態を処理する目的で、経絡的には主として脾経・腎経の調整を行い、局所穴すなわち腎俞・大腸俞に相当するところに刺鍼しそのまま放置(置鍼)し、その上に箱灸(箱の途中の金網に火をつけたモグサを置きその熱で温める温灸法。ここではモグサ3gで各ツボ

2回ずつ温めた)を併用。

経過Ⅱ初診時のペイン・スコア(数値スケール)を10点満点とした場合、75回の治療で3点となり疼痛・冷えなどの自覚症状は改善した。

なおこの症例は、臨床所見、症状ならびに経過からみて腰椎椎間板ヘルニアによる慢性腰痛と推定できます。

【箱灸と小円筒温灸を比較】
温灸には箱灸以外に小円筒温灸もあり、臨床でよく利用されています。そこで、両者の効果を比較してみました。

対象は、当科を受診した下肢の冷えを伴う慢性腰痛患者16名(全員女性、平均年齢30・8±14・9歳)。腰部に小円筒温灸を併用した鍼治療(対照群)と箱灸を併用した鍼治療(試験群)を、クロスオーバーで施行しました。

ツボは腎俞・大腸俞・次膠・委中穴などを選択し、30mm20号鍼を使用。それぞれに温灸を行い置鍼20分間。

効果判定は、患者さん自身に4段階(著効・有効・やや有効・無効)の評価を求め、治療中の快適性(最も不快0点、最も快適10点)も何点か評価してもらいました。

その結果、改善例は対照群4人(25%)に対し試験群14人(88%)で、快適性でも試験群が優れており、冷えを伴う腰痛での箱灸の有用性を認めました。

●回答者：河内 明先生
元大阪医科大学附属病院麻酔科外来鍼灸部 主任鍼灸師 兵庫 明石市

忘れやすい・集中力がない You are forgetful.

How to Care

「すぐ気が散る」「新聞や本を読んでも先へ進めない」などの集中力低下が、もの忘れの原因であることがあります。「心の滋養」「頭の陽気不足」の解消を目的にツボ療法を行います。

ツボの豆知識

手のひらを上にして、軽く手を握った時に、中指の先端が手のひらにあたる場所です。中指の骨のふちを押すと圧痛があります。

労宮
Rokyu

神門
Shinmon

手のひらを上にして、手首の小指側手前にある骨の出っばりと、手首のあいだにある深みの中にあります。

三陰交
Saninko

内くるぶしの中心から、指幅4本ほど上がった場所です。骨の後ろのふちを押すと圧痛があります。

内くるぶし

まずはこのツボからツボを探す目安

大椎
Daisui

頭を前に倒し首の付け根に突き出る骨を確認します。その真下の圧痛点。

神道
Shido

大椎から背骨を5コ下がった場所です。精神機能と深いかわりがあります。

湧泉
Yusen

足のつま先からかかとまでの約1/3のところにあるくぼみの中です。

百会
Hyakue

頭のてっぺんにあり、まっすぐ身体の芯へ抜けるように指圧します。頭のぼんやり感が解消します。

心俞
Shinyu

大椎から背骨を5コ下がって、そこから左右外側へ指幅2本ずれた場所です。精神(心)をつかさどるツボです。左右肩甲骨にはさまれた範囲で、圧痛点を探しケアします。

鍼灸東洋医学

夏バテについて

(なぜ夏バテになるの?)

夏はどうして体調を崩しやすいのでしょうか?

夏バテと言っても、時期によつて原因が異なっています。初夏は梅雨の湿気(外湿)によつて体が重たくなり、盛夏は猛暑によつて心臓に負担がかかります。夏は熱帯夜のために寝苦しくて睡眠不足になり、生活のリズムが乱れがちになります。その結果、体調がくずれて夏ばてを起こしてしまふのです。

- 初夏 Ⅱ 梅雨 Ⅱ 外湿
- 盛夏 Ⅱ 猛暑 Ⅱ 心
- 晩夏 Ⅱ 胃腸 Ⅱ 内湿

(公社) 日本鍼灸師会メールマガジン No.30 2015年6月21日より引用

(公社)日本鍼灸師会では広くどなた様にも鍼灸東洋医学に関する情報メールマガジンの受信をお薦めしております。無料購読登録は公社日本鍼灸師会のホームページ <http://www.hankyuor.jp> または毎月8日、9日は「はりきゅっていきましょう！」

健康雑学

「新型コロナとサナダ虫」

アジアで1番遅れていたワクチン接種がようやく進み出したようです。ワクチンがこのコロナ禍を収束させる切り札になることを願うばかりですが、本当に終息させるにはやはり治療薬が必要です。その治療薬を新しく作るには多くの時間と費用が掛かるのですが、それを覆す最新の方法が研究されています。理化学研究所で京都大学の奥野恭史氏が行っているのがスパコン「富岳」による新型コロナウイルスの治療薬候補同定です。

2020年7月3日の中間報告によると2,128種の既存医薬品の中から新型コロナウイルスの標的タンパク質に高い親和性を示す治療薬候補を探索・同定し、特に有望な「ニコロサミド」と「ニタゾキサニド」2つの薬剤が発表されました。これらの薬剤はなんと、今の日本では殆ど使われなくなった寄生虫用の薬剤で、前者は一時「ダイエットに有効」ということで話題になった、あの「サナダ虫」の駆虫薬ではありませんか。片や遺伝子組換えという最新のテクノロジーをもって創られたワクチン。それに対して治療薬は50年前に発見され作られた虫下しが有望とは面白いですね。

編集後記

私の住む舞鶴市では、「舞鶴方式」を採用し、5月17日から65歳以上を対象にした新型コロナウイルスのワクチン接種が始まっています。大きな混乱もなく順調に進んでいます。

また、福岡市や仙台市では「夜間接種」が実施されるそうです。64歳以下の働く世代に向けた方法だそうで、医師も「日頃の診療を終えてから来られるので助かる」、接種を希望される方も「助かる」、WINWINの方式です。

一方全国に目を向けると予約が取れない高齢者が続出。それはそうですよね。「ネット」や「QRコード」から予約が難しくなります。加えて電話も繋がらないで夕方になる方がいらっしやってもおかしくありませんね。

高齢者に優しい、働く世代に優しい、医療従事者に優しい、「三方よし」のシステムでワクチン接種が順調に進みますように。(T・K)

公益社団法人 京都府鍼灸師会 会誌 「はりきゅっていきましょう！」 令和3年度 夏号
発行 令和3年7月
発行所 公益社団法人 京都府鍼灸師会
発行者 森岡 正和
編集者 岡田 高 ・ 岸本 敬司
〒602-8147
京都市上京区葎屋町通樺木町下ル直家町215-5
TEL 075-801-2957 Fax 075-841-0200
E-mail: kyotofushinkyushikai@gaea.ocn.ne.jp
U R L : http://www.kyoto-shinkyu.jp/